

【 元気堂 】( 第433号 2012.2.3)

日本海側中心の豪雪や低温は、今日が一旦ピークです。明日は立春。春の訪れが待ち遠しいですね。

全国の向こう一週間のお天気 ( 予報期間 2月4日から2月10日まで )

北日本と、東日本から西日本の日本海側は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雪の日が多いでしょう。期間の中頃からは、北日本を中心に荒れた天気や、大雪のおそれがあります。

東日本から西日本の太平洋側は、期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、期間の中頃は雨の降る日があるでしょう。

沖縄・奄美は、気圧の谷や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多い見込みです。

最高気温・最低気温ともに、期間の前半は平年並か平年より高い所が多く、かなり高い所もあるでしょう。期間の後半は平年並か平年より低い所が多く、かなり低い所もあるでしょう。

【 土日のお天気 】

	04日(Sat)	05日(Sun)
	天気   最高/最低	天気   最高/最低
札幌	☉→*	-1/-9   ☉//○
秋田	*//☉	2/-5   ☉
仙台	☉	6/-3   ☉//○
新潟	*	5/0   ☉//*
宇都宮	○	10/-4   ○//☉
東京	○	11/0   ○//☉
横浜	○	11/1   ○//☉
長野	○//☉	3/-6   ☉//○
静岡	○	12/0   ○
名古屋	○→☉	6/-2   ☉→○
金沢	*//☉	6/2   ☉/✧*
大阪	○//☉	9/1   ○//☉
神戸	○//☉	8/1   ○//☉
広島	○//☉	10/-1   ☉//○
松江	☉	6/0   ☉
高松	○//☉	9/0   ○//☉
高知	○//☉	12/0   ○→☉
福岡	☉	10/2   ☉
鹿児島	☉	13/2   ☉→●
那覇	☉//○	20/14   ☉

( ○:晴れ, ☉:くもり, ●:雨, \*:雪→:のち, //:時々, /:一時 )

## 【 お天気モード 】

「 寒い冬の正体と対策 」 フォーネット 2012 年 2 月号 「**われは海の子天気の子 No. 22**」

今年の冬について気象庁は、当初暖冬予想を発表したが 1 2 月に入るや赤道付近のラニーニャ現象の影響を考慮し 180 度の修正を行った。3.11 大震災の被災地や北国の人々の期待に反し寒く厳しい冬の到来となった。北九州辺りまで何度も降雪を記録し、北陸から北海道の日本海側の地方で、降雪の日が何日も続き北海道の岩見沢では積雪が一日で 194 cm の新記録。重みに耐えられず積雪深計が故障するほどのドカ雪。雪に慣れている道産子でさえ、連日の屋根まで届く雪かきにくたくたでうんざりしているとの便りが届いた。気圧配置は典型的な西高東低の冬型で今冬の特徴は低気圧の中心が北に偏った。日本海北部で低気圧が発生、北海道付近で急速に発達し長期間停滞し勢力がなかなか衰えなかった。道都札幌市など除雪費の予算が底をついてしまったという。まさに稀に見る白き悪魔のごとき豪雪とブリザードに見舞われている。

( 海と天気のスーパーバイザー 高津 敏 )

### ○ 大雪の正体

大雪をもたらす正体は、日本海寒帯気団収束帯 (JPCZ:) と呼ばれている。先ず、極寒の中国大陸の上空で生まれた寒冷な大気がジェット気流に乗り蛇行しながら大陸の沿岸を離れ、遙々と日本海に流れ来て強い寒気を伴い吹き出すのだ。この寒気を含んだ大気の層が、日本海の温かい海面から次々と上昇する熱の供給を受け、上層と下層の間で対流が活発に起こり混合し、風速や気温が様な層が形成されることで発生。日本海上に長く伸びた JPCZ 上にはやがて低気圧が発生し、日本海側沿岸部を始め広い範囲で大雪や海上では大しけをもたらす。大荒れの天気を未然に防ぐことは不可能だが、JPCZ 発生の条件をいち早く知り、その目安を得ることはそれほど難しくはない。予測が不可能な大地震や大津波とは異なり、発生から低気圧へと発達する過程は、現代の進んだ観測及び予報技術で事前につかむことができる。発生の条件を知り目安を立てることができることで、雪害への周到な事前の対策や心構えが可能となる。急速に発達する低気圧や前線の接近または通過に伴う豪雪や突風など天気の急変の状況に応じて、少しでも二次災害や減災に努めてほしいものである。

### ○ 発生の目安

次にその発生の目安。JPCZ の内部における活発な対流性の降雪雲は、誰でも NHK テレビの天気予報の解説時のひまわり衛星で確認できる。具体的には、シベリア大陸から日本海に延びる筈のような一様な方向に流れている筋状の白い雲がそれである。お馴染みのテレビの天気予報だけでも丁寧に衛星画像をチェックすることで発生の目安を付けることが可能となる。気象衛星ひまわり画像でこの筋状の雲が密集しその筋が長く連なっているような時は、地上や海上においても北西の季節風が強く吹き厳重な注意と警戒が必要。次に、この JPCZ 上に低気圧が発生し、前線を伴う天気図のパターンとなった時には、低気圧や前線の接近及び通過に伴って、雷などを伴い急速に荒れ模様となる場合が多いので、十二分に注意して欲しい。さらに言えば、高層天気図などを入手することができれば予測の精度は大いに高まる。このように、土地の癖や実況データを参考にし冬将軍の到来時期や白い悪魔の程度を自分なりに注意深く監視して欲しい。ただし、天気が生きものでありその推移や変化は、予想通りにはならないこともあるので、安易に判断することはリス

クを伴うことを肝に銘じておくことを忘れてはならない。発生条件を知り確固たる目安を持つことで、突然の大雪になす術もないお手上げの状態という最悪の事態を避ける手段や方法を知って欲しい。今冬の豪雪に際し、読者が多くの事例を学びながら、被害をこうむることを最小限にして欲しいと心から願うものである。

( NPO法人ふるさとICTネット理事長/拓殖大学客員教授 高津 敏 )

## 【 e健康生活 】

「 オンコリンカスの詩 その26 星の見えるない夜 」

「おしよろ丸南方航海記 Dec 17th ' 73 」

時刻不明

兆候を見せていた海は、未だその本性を表さず少々不気味な感じもする

### 星の見えるない夜

星の見えるない夜は  
闇の海  
こんな時  
あなたの愛に触れていたい  
ふと  
優しい自分を見つけたことが  
とても嬉しい

真実  
あなたを愛したいという気持ちが  
少しも  
背伸びでなく確かになった

## 【 感 想 】

オンコリンカス4年目の南方航海が終わりに近づいている。  
多分、南方航海・おしよろ丸パックジョイ最大の難所  
台湾と中国の間にあるバッシー、バリントン海峡が  
ワッチで一緒だった甲板員たちのおどし(?)ほどには  
荒れなかったことを書いているのだろう

江戸時代の樽をひっくり返しただけのような安全性などなきが如しの構造で  
豪胆な船頭だった高田屋嘉兵衛が乗り何度も遭難しかかった樽廻船のように  
「板子一枚は地獄」というほどの脆弱な練習船でないことは十二分に分かっていたのだが…

北へ進むほどに、冬の荒れる海は  
自然の脅威をまざまざと見せつけ何時ともなく押し寄せてくるものだ  
平穏な海面であっても、その想いに取付かれるとブリッジにいても胸が騒ぎ落ち着かないもの

星の見えない闇夜の冬の海は不気味でどす黒い海面  
そんな時エンジン音が大きく聞こえていないとひょっとしたらという思いにとらわれ  
船乗りが弱気になる瞬間が間歇的に何度も何度もやってくる

ヴェテランの甲板員が学生に強がり言っているけども  
きっと誰にも襲ってくることはないもの  
そのことにじっと耐え、前方を見つめてワッチを続けることが最後の試練だったと今は想える

そのような時、ふと浮かんでくるのが懐かしい友の顔であり  
今度こそは飲んで騒いでばかりいないで真剣に彼女を見つけようなどと  
柄にもないことや他愛もないことを夢想するのだった

何故かそんなことを想い、日記に書いていることで自分の心の中を見つめることができる。  
しばらくすると、いつものように気持ちがゆったりとしてくる。  
その後は、たちまち睡魔に襲われ眠ってしまうのだった  
人は安心できないと眠れないもの  
それを暗示にかけるといふのかもしれない。

あの練習生の部屋にしては、それなりに広く設備の整ったキャデットルームで  
点灯したまま、カーテンも引かず堅いベッドに仰向けになり目をつぶった気がついたら朝だった  
その楽しくも可笑しかった練習航海の日々がもうじき終わるのだ

## 【 W I S からのお知らせ 】

\*\*\*\*\* 天気で元気! \*\*\*\*\*

[世界初 「ソリューションする気象会社」](#)

観光と防災（旅行新聞防災の日掲載記事） 津波災害の問題点を検証

<http://www.ryoko-net.co.jp/modules/headline/index.php?page=article&storyid=635>

防災メールなら **地震番**

<http://www.wis-x.co.jp/jishinban/jishinban.html>

3.11 大震災に接し、気象・防災等の講演活動を行っています。

<http://life-support.biz/yotsuya/kohshi-takatsuhayashi.pdf>

編集発行人 拓殖大学客員教授・気象コラムニスト 高 津 敏  
NPO法人ふるさとICTネット 理事長

\*\*\*\*\*